



かわねほんちよう 議会だより

第19号

平成22年8月発行

発行/川根本町議会
編集/議会だより
編集委員会

お < じ

- 6月定例会報告……………2～3
- 一般質問……………4～11
- 議会日誌・編集後記……………12

平成22年 第2回定例会（6月議会）報告

第2回定例会本会議が6月24日から29日までの6日間を会期として開催されました。

初日は承認2件、報告4件、議案7件が上程され、全員賛成で可決されました。最終日の29日は、議案1件、発議2件が追加上程され、全員賛成で可決され閉会しました。

専決処分

れ、承認されました。

◎川根本町税条例の一部改正について

国の税法が4月1日より改正され、それに伴い川根本町税条例が一部改正されました。主なものは、子ども手当に関連して扶養親族の改正、たばこ税の改正、非課税口座内上場様式等の譲渡に係る町民税の所得計算の一部改正等が専決処分さ

条文の加除の改正で、税率は従前どおりで承認されました。

◎川根本町国民健康保険条例の一部改正について

◎平成21年度川根本町簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書
◎平成21年度川根本町

報告

◎平成21年度川根本町一般会計繰越明許費繰越計算書

◎平成21年度川根本町一般会計事故繰越繰越計算書



塩郷吊り橋の駐車場
(一般会計事故繰越)

温泉事業特別会計繰越明許費繰越計算書に

4事業とも21年度中に完了不可能となり、繰越明許とする説明を受け了解されました。

条例関係

◎川根本町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び川根本町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

国の育児休業など労働者の福祉に関する法律の改正に伴い、川根本町も条例を改正するもので、内容は職員が子育て中の場合、時間外勤務を強要できない、また夫婦二人で育児休



子育てしやすい環境の充実に...

業を取ること等が認められました。

◎川根本町国民健康保険条例の一部を改正する条例

国の国民健康保険法の改正に伴い、条文の整理を行うものです。

補正予算関係

◎平成22年度川根本町
一般会計補正予算
(第1号)

歳入歳出に4千674万
6千円を追加し、総額
を52億3千174万6千円
とするものです。

歳入は県補助金1千
929万円、繰入金1千758
万円、繰越金960万2千
円等で、歳出は緊急雇
用創出臨時対策事業と
して、森林経路整備事

業業務委託602万円、森
林調査事業業務委託
602万円、外国人対応観
光ガイド養成事業504万
円、町道新設改良工事
費2千350万円等が主な
内容です。

◎平成22年度国民健康
保険事業特別会計補正
予算(第1号)

歳入歳出を1千383万
7千円を減額して、総

額を9億8千616万3千
円とします。これは過
年度の実績に基づく本
算定に合わせて、予算
を修正するものです。

◎平成22年度川根本町
温泉事業特別会計補正
予算(第1号)

歳入歳出を24万5千
円を追加して、総額を
3千84万5千円としま
す。千頭温泉ポンプ故
障に伴う調査費の計上
で、財源は一般会計か
らの繰り入れです。

その他

◎静岡地方税滞納整理
機構を組織する地方公
共団体の数の減少につ
いて

合併により芝川町と
新居町の2町を廃止し、
組織数が減少しました。

◎静岡県後期高齢者医
療広域連合を組織する
地方公共団体の数の減

少について

前述と同じ芝川町と
新居町の2町を減少す
るものです。

工事請負契約

◎平成22年度地名簡易
水道施設整備工事

【契約額】7千35万円
【契約先】(株)藤原組



地名簡易水道工事現場

議員提出議案

◎「核兵器廃絶・平和
のまち宣言」に関する
決議

左記の内容で、全員 地方自治法の一部改正
賛成で可決されました。により、議員派遣に関
◎川根本町議会会議規 する条項にずれが生じ
則の一部を改正する規 ため整備しました。
則について

「核兵器廃絶・平和のまち宣言」に関する決議

地球上からすべての核兵器を廃絶し、世界の恒久平和と安全を実現することは、人類共通の願いであり、世界で唯一の被爆体験を持つ私たち日本国民の悲願でもある。

しかし、核兵器の増強は、依然として続けられ世界の平和と人類の生存に大きな脅威をもたらしている。

本町議会は、日本国憲法の基本原理であり人類共通の念願である恒久平和に向けて、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く希求し、ここに「核兵器廃絶・平和のまち宣言」を行う。

以上、決議する。

平成22年6月29日

静岡県川根本町議会



小藪侃一郎議員

○厳しい茶業「川根茶」振興策の早期実施を
 ○中国竜泉市友好都市提携推進の成り行きは
 ○中国等市場開発事業より国内で川根茶業戦略対策を
 ○役場職員の士気向上と人事異動について

問

質問 凍霜害により茶農家・業者・地元商工業者に多大な影響を与えている。特に全国茶品評会出品茶園の大変な御苦労に敬意を表する。個人茶工場・共同茶工場経営強化が必要と考えるが如何か。

町長 どのような指導が必要か、現場の担当と相談し指導体制を考えていきたい。

質問 消防法に基づく重油タンクの防油堤の対応を伺う。

町長 なんらかの応援体制をとっていききたい。

質問 茶業振興策は予算措置をして庁舎内職域だけでなく、人材集団等、川根茶地域再生プロジェクトチームで行動すべきと思う。

町長 企画課・商工観光課・産業課でスタートし、本部長は副町長で町全体として取り組み、とりあえず茶業ということが入って

いく。

質問 4月以降多くの会合・総会等の場で川根茶の販路拡大を考えていきたいと発言している。具体的に動き出すのはいつ頃か。

町長 8月頃に議会の皆様へ説明し、その後スタートしたい。

質問 竜泉市友好提携は、この町が28万人の都市とどうやって提携していくのか、住民



竜泉友好関係のこと、ブロードバンドのこと、早い時期に町民の皆様方と話し合いの機会を持つてるように考える。

質問 定期異動後に2回の追加異動は職務に集中力を欠き、士気の低下を招かないか。

総務課長 数字的には1/1付6名、1/1定例異動内示後に2名、1/1付1名の変更があった。

町長 職員158人の内104人から希望が出たが必ずしも、希望の部署に配置できる状況にもない。与えられた場所で頑張れる環境を作っていくのが大切だと思う。

質問 町民の関心事は12月議会で教育長人事案件で否決された職員が教育長職務代理者に就いた人事異動である。職員の人事権は町長の専権事項と理解しても、理解に苦しむ。議会の議決を無視したと思う町民も多い。町

長の思いを伺う。

町長 どう思われるか、いろんな解釈があるだろうと思う。私の胸の中にあることなので、いろいろな形で考えていただいて、一向にかまわなと思っています。

質問 職員の残業時間が多いのではないかと20年下期と21年度下期の残業支給額を伺う。

総務課長 下期10月から3月は20年が73年に総支給額567万円、21年は81名に支給額は672万円となっている。

質問 104万円18%強の経費増加で有効な経費削減が必要だ。組織のタガが緩んでないか。

町長 できるだけ勤務時間の中で納まるような体制をとりたい。注意深く見ながら進めていきたい。

質問 スリッパ履き・公用車運転中喫煙・勤務時間中一服喫煙等いささか緊張感がゆるん

でないか。職員の自浄努力を望む。

総務課長 この件について把握している。課長会を通じ指示している。次の課長会でも再度指示する予定。

答

- 8月頃には活力ある農業・茶業振興計画を策定
- 県と歩調を合わせ8月訪中後に広報誌等で知らせる
- 組織横断的にプロジェクトチームを立ち上げる
- 職員が士気を高め維持できるよう努力する



市川昌美議員

問

- 観光施設、千頭駅周辺の投資総額は
- 駅前の滝のトイレの電気代を住民が支払っている理由は
- 音戯の郷の委託職員のアルバイトへの降格は
- 千頭温泉の配湯停止・その対策の遅れは

が、今回の調査結果も、同仕様のポンプを再度導入することは不可と判断しますと結論づけている。今回の調査費が計224万5千円、

6か月も掛かっている。運搬している接阻峡温泉も、旅館等の成分表示とホームページで表示している成分と違っている。あまり長くなると困るといふことを言われた。調査費の計上を、この間議会が3回も開かれていないのに配湯の停止期間も含めて、なぜ急がなかったのか。

町長 千頭温泉が温泉として認定を受けているのは成分だけでなくて温度が25度以上あるからということ。何とか温泉を維持していくための段取りということであらう。遅くなった部分がございます。

町長 町の施設である駅前の滝のトイレの電気料を、存続のために駅前の住民の方が支払っている理由は、

町長 千頭温泉が温泉として認定を受けているのは成分だけでなくて温度が25度以上あるからということ。何とか温泉を維持していくための段取りということであらう。遅くなった部分がございます。

町長 音戯の郷で働いていた委託職員5名、理由もなく何の落ち度もないのに、時給750円のアルバイトに降格された。人権問題だと思う。労働基準局へ飛び込まれたらどう対処するのか。2人いる役場の職員はどうするのか。昨年は係長クラスの職員を2人入れて、途中で教育委員会に欠員があったので、1人を教育委員会へ異動したので、人件費は1千400万円となった。3人のアルバイト代は570万円。この点はいかがか。

町長 そういうことも含めて、現場をみながら検討させていただきたいと思います。

町長 音戯の郷で働いていた委託職員5名、理由もなく何の落ち度もないのに、時給750円のアルバイトに降格された。人権問題だと思う。労働基準局へ飛び込まれたらどう対処するのか。2人いる役場の職員はどうするのか。昨年は係長クラスの職員を2人入れて、途中で教育委員会に欠員があったので、1人を教育委員会へ異動したので、人件費は1千400万円となった。3人のアルバイト代は570万円。この点はいかがか。



答

- 25億7千350万円となる
- 存続を希望する方達が納得して支払っている
- 現場を見て対処していきたい
- 千頭温泉の存続のための段取り等による



山本信之議員

- 川根高校の存続について
- 市場開発調査・研究事業について
- 情報通信基盤整備事業について

問

質問

川根高校存続について「地域の活力・川根高校を守ろう会」を立ち上げ、地域住民の皆様（旧川根三町）より要望書に署名をしていただきました。署名者数9千681人でした。その要望書を持参し、県教育長に誓願してまいりました。今後、行政では川根高校存続についてどのような対応をしていただけるかお聞きします。

質問

お茶の市場開発調査・研究事業の当初予算の計上について、経過を問う。中国に対しての執行は企画課で行うのか。時期はいつか。

町長

茶業関係者の各総会、農業委員会等出席させていただき、ご意見をいただいております。お茶関係を取り巻く厳しい現状を何とかしてほしい、期待をいただいていることを確信いたしました。国外への発信は、川根本町をよく知っていただくと同時に、お茶の文化を体験していただくところを切り口に出来ないかと考えています。産業課、商工観光課、企画課等のプロジェクトチームの結成を指示してあります。予算執行をするのは8

質問

月あるいは9月にお示しいたします。情報通信基盤整備事業の目的は、事業費と財源内訳がどうなるのか。本年度のスケジュールは。

町長

「見守り」「健康指導サービス」「住民への生活支援」「防災」「学校教育」「商工観光」などを展開していきたいと考えています。16億円の事業費を想定して

質問

いきます。基本設計をまとめる中で意見交換を行い、情報の周知に努めていきます。地区説明会等を開催した後については、基本設計内容に対して住民の皆さんにご了解いただけたと判断した場合に、詳細設計業務の契約締結について町議会に上程するというようになります。

入学式に出席させていただき、地域の熱い思いが、私も同行いたしまして県にも十分伝わったと確信しています。皆さんの英知を結集し、前向きに考えていけたらと考えています。学校、父兄、地域が一体となって、特色ある、魅力ある川根高校づくりに取り組んでいく必要があると思います。機会をとらえては、地域の考え方、

12億円のうち、合併特例債を11億4千万円、一般財源6千万円となります。区長会や町議会議員の皆様への説明を行って



平成22年2月 県教育委員会へ要望書を提出しました

○県にも十分伝わったというふうに確信しております

○9月以降、執行していく考えです

○地区別説明を開催します。

答



太田侑孝議員

問

○お茶の凍霜害に対する町長の被害認識と被害調査の要件について

○被害農家等からの支援要望と行政の対応について及び、二茶以降から来季への身通しについて

質問 お茶の凍霜害状況とその対策について、まずは町長はどのような被害意識、認識を持っているかを前提に質問するが、今回の被害状況調査の範囲、方法、時期等について伺う。

町長 被害状況の把握は、3月31日、町と農協の担当者が接叢から地名区迄の27地区の調査ポイントで枠内被害芽の比率と、その後の回復状況について観察調査を行った。時期は被害後1週間に一度の頻度で状況の把握に努めた。

質問 被害農家、茶商等からの支援についての要望状況を伺う。

町長 町内茶商からの要望はないが、農家からは、防霜ファンが一定の効果を発揮したことからの、設置要望が提出されている。いま、二茶最盛期であり、各農家とも今年のお茶を振り返る余裕もなく作業中である。また、本年設置した「地域農業支援員」が共同茶工場を巡回し、要望等を伺っている。

質問 行政としての支援、対応策について伺う。

町長 現在は一番茶が終って調査段階であり、凍霜害の影響の全体を十分に把握できていない。また、二番茶の動向も見えていきたいし、周辺市町の対応も少し見た上で、効果的な対応策を考えていきたい。なお、農家からの資金借入れに対する利子補給については、近隣の市町、牧之原市や藤枝市、島田市も助成の表明をしたようだが、当町も1.5%の利子の内、0.75%は農協、残りの0.75%を町として補給して、金利ゼロで借り入れができるように



防霜ファンの効果に期待

したいと思っっている。

質問 二番茶以降から来季に向けての茶業の見通しについて伺う。

町長 技術的には、凍霜害以降、芽の生育が不揃いで、品質の低下が減収要因になっている。この解消のために、二番茶以降、整枝に十分注意を払うと共に樹勢の回復に努めることが重要であり、個別対応が求められる。県、農協等、指導機関とも相談して対応を図っていききたい。

農家の今回の被害についてどう認識しているかについては、1年をかけての収穫期を迎え心待ちにして臨む新茶の直前に大変な被害にあつて、その気持ちは察するに余りある。精神的な落ち込みや今後の茶園管理と維持に大変心配されていると思う。できるだけ皆さんの気持ちに対応すべく努めたいと思う。

質問 小規模な耕作放棄茶園の発生が心配されるが、農地法の改正等でどう対応できるのか伺う。

産業課長 農地法が変わり、耕作放棄地を解消する方向で農業委員が立ち入って指導、勧告するような立場になった。また、年に一度農地のパトロールが義務づけられた。

答

- 収穫直前の被害は察するに余りある心痛です
- 町内27地区ポイントで週一の頻度で調査
- 防霜ファンが効果発揮の報告と設置要望も
- 資金借入れの利子補給で金利ゼロに



中田隆幸議員

- 凍霜害の被害状況と利子補給助成について
- 防霜ファンの設置補助について
- 茶共済について

問

質問 三月末の凍霜害は最近に無い大きな被害を与えた。また、一部地域においては、降雹により二度のダメージを受けている。この被害状況についてお伺いしたい。

町長 小藪議員、太田議員にも説明をしました。後、凍霜害とその後低温で新芽が枯死し、町内南部の早場所で30%から50%の芽が枯死しました。町内北部はまだ萌芽前で被害は少なく、その後の低温による生育遅延が発生しております。なお、降雹の被害は一部地域で見られましたが、凍霜害による被害が大きく、その中で被害状況を把握に努めました。

質問 凍霜害対策資金に係る利子補給助成と相談件数をお伺いしたい。

町長 凍霜害対策資金に係る利子補給助成は、農協が0.75%、町が0.75%の利子補給を行います。現在7件の問い合わせがあります。ちなみに島田市では132件、藤枝市では13件と聞いております。

質問 防霜ファンの老朽化に伴う付け替え等の補助制度についてお伺いしたい。

町長 補助事業で実施した事業には再補助はありませんので、7月に「ふじのくに地域創造会議」で知事を囲んでの円卓会議があります。その席での要望としてあります。今後国・県に要望をお願いしていきたいと考えております。

質問 エコモーターにする補助対象と聞いているが。

産業課長 町長が知事との会談でその点にも触れます。既存の防霜施設を省電力型のリニューアル化が可能な補助事業の要件見直しを要望したいと思いません。

質問 新聞紙上に、静岡市内のお茶問屋さんが、被害を受けた契

約農家に被害金額を補填すると書いてあったが、この様な企業はなかなかない。生産者また、関係業者の災害に対する取り組み方等と、この様な茶災害を補償する茶共済制度があるが、今後この様な制度の普及・加入等を考えているかをお伺いしたい。

町長 静岡市の産地問屋の記事は読ませて頂きました。この事は茶商さん、行政も含めて地域で茶業を守るべくいろいろな対策を考えていく必要があると思っております。茶共済につきましては、今後の茶振興を考えると、茶共済の掛け金10aで年約3千円程度で最高28万円の金額が支払われます。(5年間の最低収益・最高収益を除いて残りの3年間の平均金額の8割を補償する)小規模農家で、経営記録等がない場合もあります。現在は共同組合の会員に限定されておりますが、今後は加入促進する事とあわせて役場内でも考えており、何らかの支援ができるのではないかと考えております。



茶災害を補償する「茶共済制度」

- 利子補給助成はおこなう
- 防霜ファン設置補助を国・県に要望していく
- 茶共済加入を促進し、何らかの支援も考えたい

答



原田全修議員

問

- 巨額な当町独自のブロードバンド（情報通信）基盤整備事業計画は白紙に戻すべき
- 南部小の来年度からの複式学級への対応、小学校の適正規模の検討状況はどうか

質問 当町は携帯電話の不感エリアの解消が進んだ結果、高速インターネットができない地域は無くなっていく。にもかかわらず、なぜ16.6億円という膨大な初期投資が必要な当町独自のブロードバンド（情報通信）基盤整備を茶産業や観光産業他の地域振興の事業に優先して進めようとするのかをあらためて町長に質したい。

町長 超高速の情報通信基盤整備は、道路建設や病院などの福祉施設建設と同様の社会資本整備事業として重要である。事業費に対する財源は、県補助金については平成23年度まで、合併特例債については平成26年度までという期限がある。

質問 3月議会で、なぜ各家庭まで光ケーブルを張り巡らす方式（FTTH方式）にこだわるのかとの質問に対して、「同報無線の難聴者対策としてFTTHが有効な手段である」との答弁があったが非常災害時の情報伝達手段だからこそ無線系でなければならぬのに、地震、台風、豪雨など災害に弱い有線系で補完するという考え方が間違っていることを指摘したい。

町長 当町が計画する高齢者への健康福祉や住民への生活支援等のサービスは衛星通信や携帯電話ブロードバンドでの対応は難しいと考へた。原田議員が考へるブロードバンドへの対応方法を伺いたい。

原田 当町のブロードバンド基盤整備というものは、町内でのみ使用可能なテレビ電話と告知放送が基本サービスになるということであるが、この程度のも

質問 のは既に現在のインターネットや携帯のサービスの中で手に入るることができる。標準的なブロードバンド技術の導入で十分ニーズに比べられるものとは認識している。FTTH方式は白紙に戻すべきだと思う。

質問 当町行政改革実施集中プランでは、「減少を続ける小学校児童数に対応するため、…小学校の適正規模について調査検討する（平成18～22年度）」としてある。昨年の6月議会での杉山町長の答弁はまだこれからのことであつた。その後の検討の現況を伺う。



町内どこでもインターネット接続が可能になっている（吉町河内の屋外での事例）

備という大事なテーマに今まではほとんど取り組まれていなかったということを大変遺憾に思う。南部小の複式学級への対応として、1年前に杉山町長は町費を使ってでも南部小には先生を加配したいという考えを学校関係者に伝えてある。この考えは引き継いでいるということではよろしいか。

町長 引き継ぎには無かったが、必要だということであれば考へていかなければならぬと思つている。

答

- 同報無線の難聴対策、高齢者の健康福祉、住民への生活支援等のサービスからこの事業は必要
- 南部小へは先生の加配の必要があれば考へる適正規模の検討は今度7月に協議会等を開催する

問

- 足湯の設置、文化会館へ交通手段確保を
- 継続できる茶業・林業対策は？
- 塩郷ダムの通年全開で魚が遡上する大井川に



鈴木多津枝議員



川根温泉の足湯

質問 梅島下温泉スタンドに、健康保持や交流で要望が強い足湯の設置を。

町長 現在、数名運んでおり残りは地中へ流している。2月の調査で成分の濃い温泉が毎分6.9リットル自噴を確認。足湯は建設費や維持費など総合的な判断が必要だが頭に入れておく。

質問 ほとんどの文化行事が文化会館で行われるが、車に乗れない人も南部地区から参加できるように、交通手

段の確保を。

町長 多くの町民が芸術・文化に親しんで頂くために足の確保は重要。町営バスやデマンドバスの運行を総合的に検討したい。

質問 築100年になる地名の旧東海パルプ発電所を町文化財に指定して存続を。

町長 町指定有形文化財とするには所有者の同意が必要で、教育委員会では産業遺産としての価値を認識し、

何度か地名振興会と交渉したが、残念ながら歴代の理事長等の同意が得られず現在に至っている。町指定文化財は利活用というより建物の保存、展示物の色合いが濃い。県内にこれより古い同様の建物は13件ある。

質問 価格低迷に苦しむ茶業・林業が継続できる基幹産業となるための具体策は。生ゴミ堆肥化や木質バイオ活用等の循環型農林業、多品種生産、地産地消、観光連携など、関心を

持つ住民グループを育成するため先進地視察や調査研究、試行的取り組みへの支援策は。

町長 商品開発・ブランド化で川根茶ファームを増やし、PR・販売確立に努める。町単独補助で常用型摘採機、茶園改植、自力作業道、荒茶加工場再整備が進んでいる。今年度は耕作放棄地対策予算も計上した。林業は、作業路整備、機械化、林地集約等の生産性向上が不可欠。高性能林業機械の導入で崎平、東藤川、奥泉地区で集約化が進んでいる。FSC

森林認証林の普及・拡大も図る。町内にバイオマス活用事業者があり有効活用を図りたい。生ゴミ堆肥化は地域単位で取り組む住民グループ育成や処理機価格運営経費を検討したい。

質問 次の水利権更新まで10年を切った塩郷ダムは、撤去を目指して地名・久野協間に橋を架け、当面通年全開を要求して魚が遡上する川に戻すこと。

町長 中電所有のダムに町長は是非を言う立場にない。平成元年の水利権更新で夏場5t、冬場3tの放流が実現したが、上流は土砂堆積、下流は河床低下し、県へ砂利採取を継続して要望する。中電は魚道を設置し改良を重ねて、地元漁協と協議するなど魚の遡上に配慮している。濁水対策も昨年10月に調査完了、今年3月に詳細設計完了、国交省と協議を進めており、着工にはもう少しかかる。

- 何らかの策を考えたい
- 使いやすい制度となるよう改善する
- 魚が遡上する川になるよう中電も配慮している

答

議 会 日 誌

<涼をさそう花々を載せました>

4月

- 6日 小中学校入学式
- 15日 生涯学習推進本部会議・農業委員会
- 18日 献茶式
- 21日 川根高校部活動後援会総会
- 26日 議運・全協・議会だより編集委員会



<アプト式鉄道と芝桜>



<下長尾の宮前花壇>

5月

- 2日 H22年度茶感謝祭
- 13日 議会だより編集委員会
- 24日 町村議会議長会総会
- 28日 議運・全協

6月

- 2日 H22年度奥大井地域振興協議会総会
- 6日 とうきょう川根の会
- 18日 まちづくり基本条例策定委員会
- 24日~29日 6月議会定例会
- 30日 バス路線対策委員会・農業委員会



<さるすべりの花 (地名)>

編集後記

参院選で国民は、政権党になって1年経たない民主党に、熱いお灸をすえました。マニフェスト(選挙公約)がこんなに軽く扱われたことは無かったことです。普天間基地、子ども手当、消費税増税：国政のねじれは、民意とのねじれではないでしょうか。

庶民の声が届かない国政と違い、町議会は皆さんに身近で、何よりも皆さんの声

が大事です。今号で編集が第二委員会に移りますが、新しい視点で皆様

編集委員

(第一常任委員会)

- 委員長 中澤智義
- 副委員長 山本信之
- 委員 板谷信
- 委員 鈴木多津枝
- 委員 市川昌美
- 委員 森照信

9月議会の日程

- 本会議初日 9月7日(火)
- H21年度決算審査(特別委員会) 9月8日(水)~15日(水)
- 本会議最終日 9月22日(水)

一般質問は22日に行う予定です。ぜひ傍聴にお越しください。



議会だより編集委員会